

「スリーハイと一緒に働きましょう」

横浜市都筑区東山田から



THREE HIGH
CO.,LTD. SINCE 1990

株式会社スリーハイ
2024.9 作成

1 スリーハイはどんな会社？

2 障害者雇用のきっかけ

1 スリーハイはどんな会社？

2 障害者雇用のきっかけ

代表取締役 男澤 誠（おざわ まこと） 55歳

1969年4月22日生 4人家族

1992年 大学卒業後、通信建設企業 入社、元SE

2000年 株式会社スリーハイ 入社

2009年 代表取締役 就任

他、

横浜市障害者就労支援推進会議 委員／都筑区少年補導 委員

横浜市立東山田中学校区運営協議委員会 会長

NPO法人アスリード理事／社会起業修士(MBA)



スリーハイと一緒に働きましょう

株式会社スリーハイ

(産業用電気ヒーターの製造・販売)

横浜市都筑区東山田 (東山田駅より徒歩 18分)

(東山田準工業地域内)

資本金：3,000 万円

売上：約 4.5 億円 (2023年9月現在)

取引社数：約 7,000 社

従業員数：42 名 (正社員：18 名)

平均年齢：38 歳

ISO9001／14001 取得

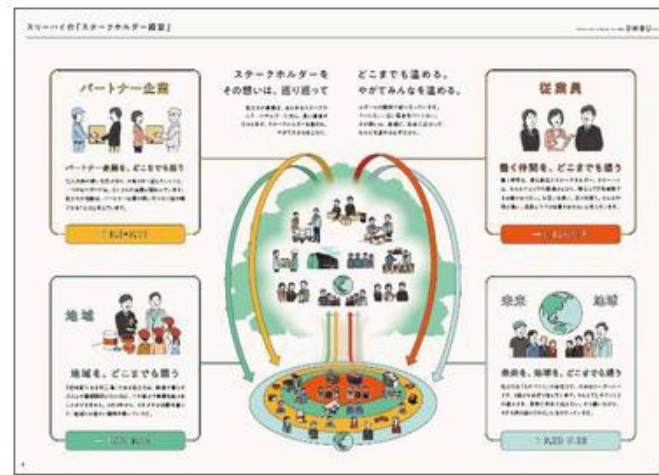
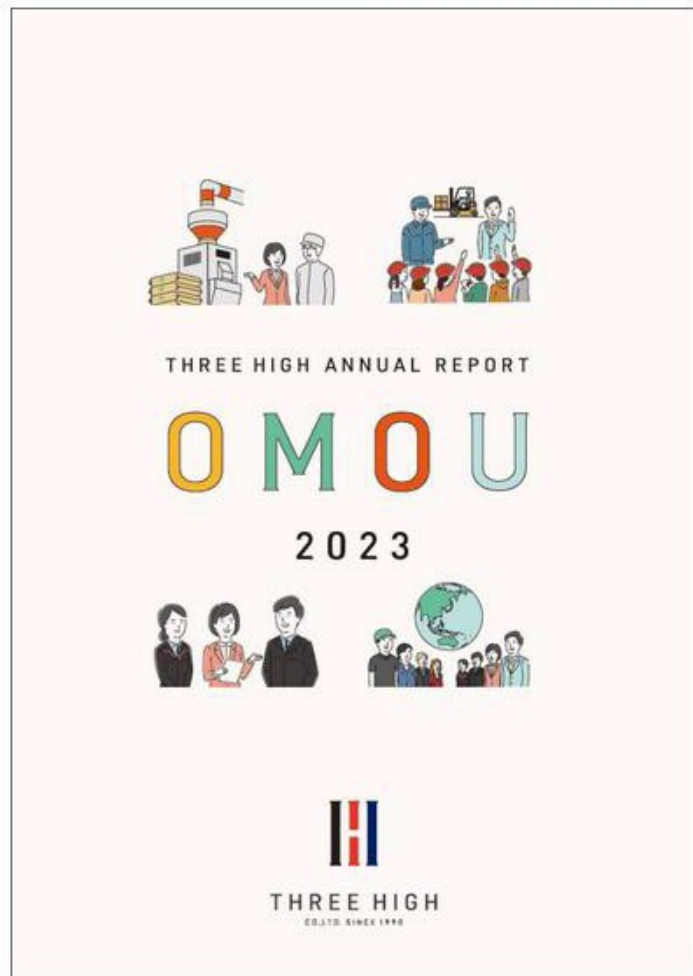




スリーハイ 第2工場
Café & factory DEN オープン (2017年)

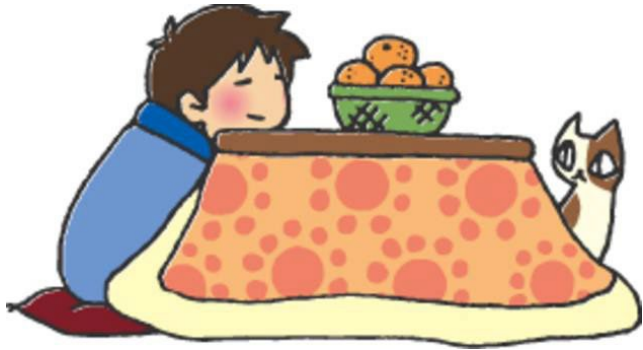


アニュアルレポートOMOUを毎年発行



こちらから
ダウンロードできます

スリーハイのヒーターって？



家庭用ではない！

スリーハイと一緒に働きましょう



温めるをつくること をやっています

お客様を



地域の皆さんを



1 スリーハイはどんな会社？

2 障害者雇用のきっかけと、今

実は自分には **関係のないこと** だと思っていました・・・（男澤）（2017年）

就労支援を
している友人



発達障害20代女性
Kさん

（当社の従業員）



「得意なことはミシンです。でも・・・」



彼女が作業している現場風景



発達障害
20代女性 Kさん
(当社の従業員)

得意

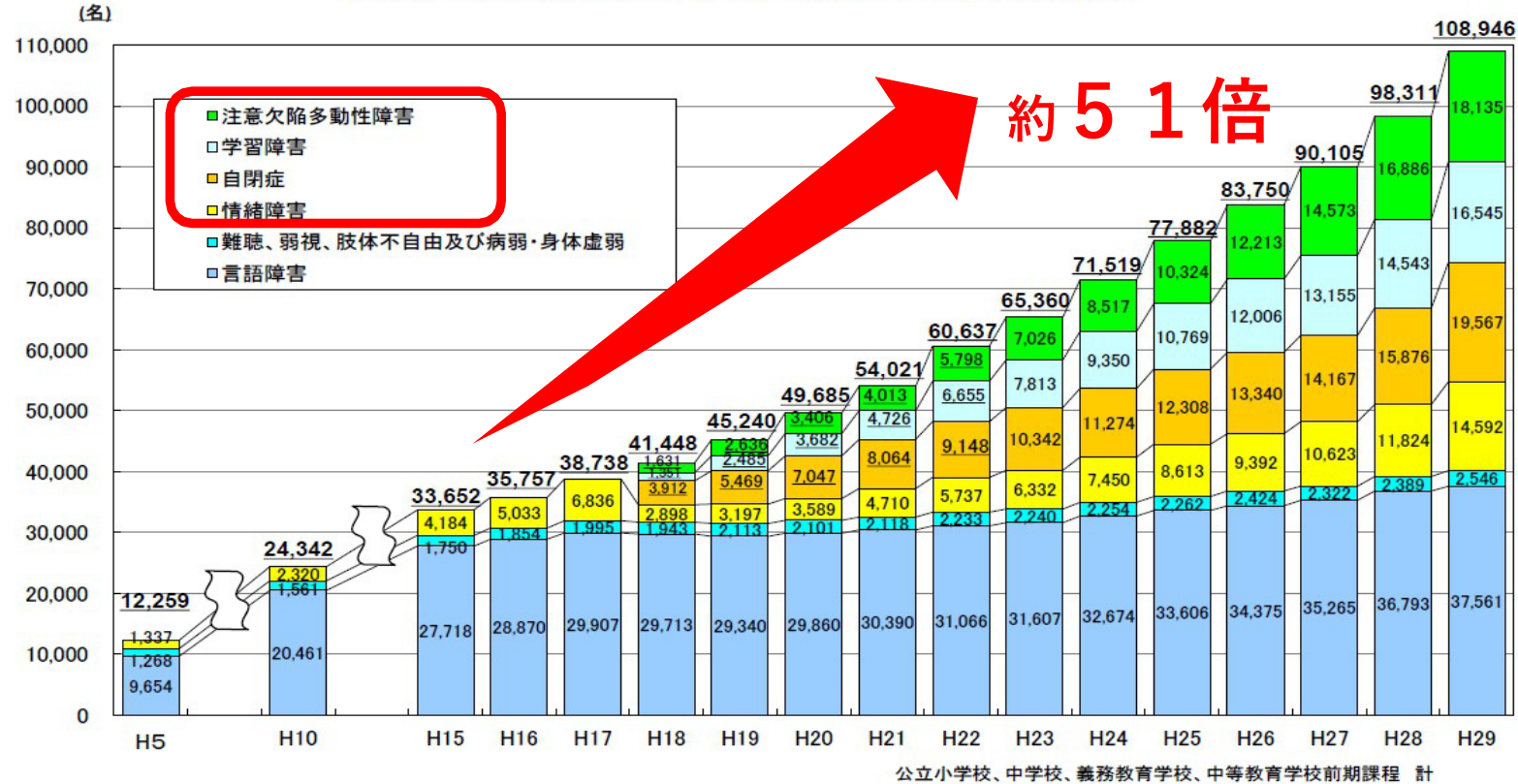
- ・ミシンを使った縫製加工
- ・細かな仕事

不得意

- ・コミュニケーションをとること
- ・同時並行で進めること

障害のある学生の修学支援は年々増加傾向

通級による指導を受けている児童生徒数の推移



1993年
総数：1,337人

2018年
総数：68,839人

※「注意欠陥多動性障害」及び「学習障害」は、平成18年度から新たに通級指導の対象として学校教育法施行規則に規定（併せて「自閉症」も平成18年度から対象として明示：平成17年度以前は主に「情緒障害」の通級指導教室にて対応）

「結構、器用な方がいるんですよ」 (2021年)



都筑区
就労継続支援B型事業所 訪問

知的障害者

就労継続支援B型 20名
生活介護 数名



→収入が少ないため、
経済的な自立がなかなかできない



ボールペンにインク芯をいれる

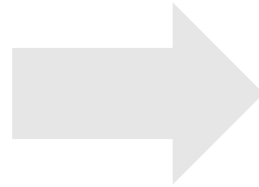
0.1円/本

一緒に働けば最低賃金はもらえる、生活が豊かになるはず



ボールペンにインク芯をいれる

0.1円/本→11,000円/月



工場で作業をする

1,150円/時間
(18万円以上/月)

(株)スリーハイ× [] さんの雇用スケジュール案

11月29日 利用している事業所にて実施・第2弾1月17日の実習の目標確認

1月24日 グループホーム訪問

採否や実際の働き方について調整

2月以降から、週1回程度実施

日吉就労と [] さんの
顔合わせ

グループホーム
訪問

スリーハイと打ち合わせ
(日吉就労の職務体験)

実習開始

実習の振り返り

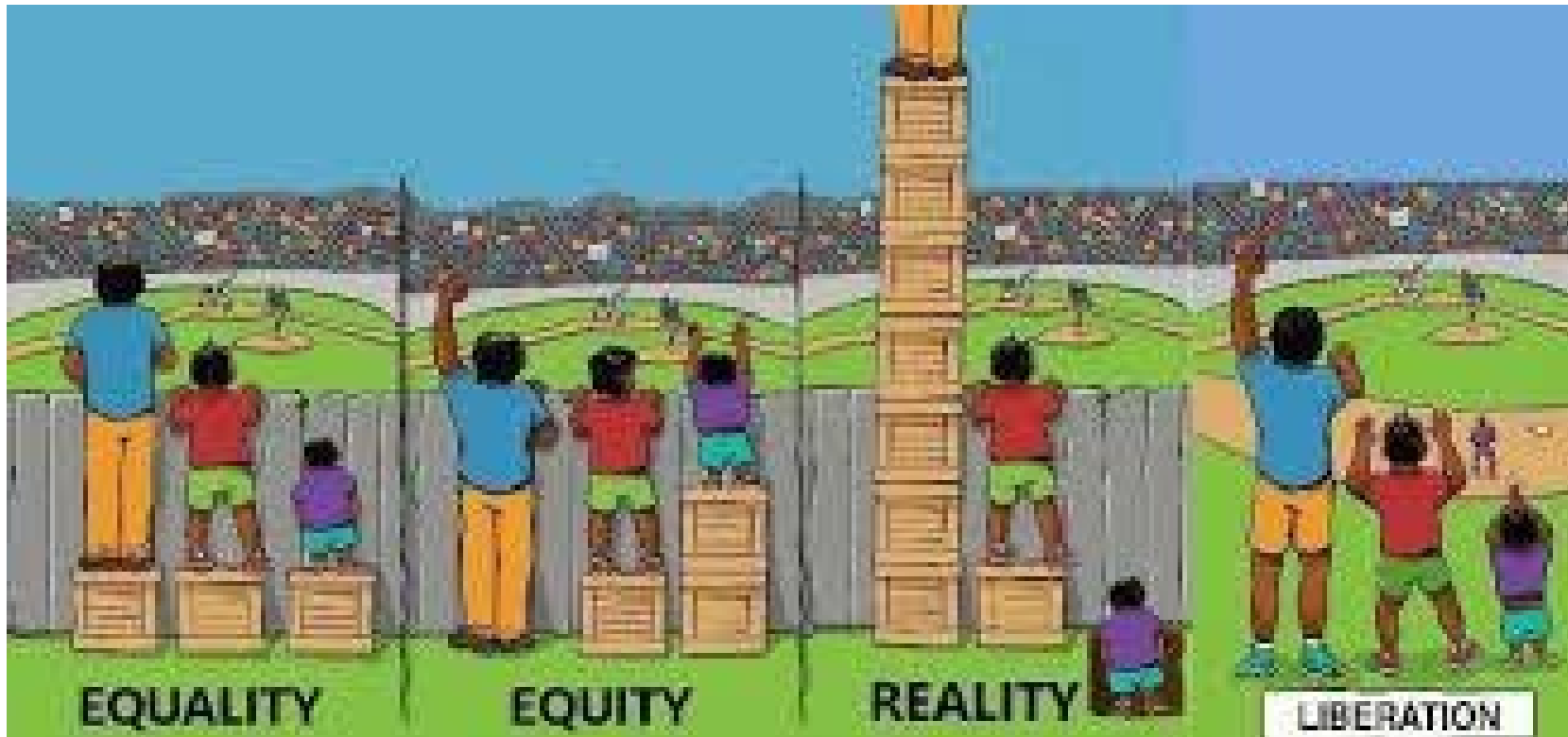
雇用開始
定着支援

採用スケジュールの打ち合わせ
可能であれば実際に仕事を体験させていただき、支援者も仕事内容の理解を深めます

本人・会社に対して継続的なサポートを行います

現在の雇用状況

<p>Kさん 30歳女性</p>	<p>発達障害</p>	<p>2017年10月：入社 2020年4月：当社製品ゴエモンのジャケット担当 2022年10月：600万円を受注 週3回勤務（パート）約7万円/月</p>
<p>Iさん 24歳女性</p>	<p>知的障害</p>	<p>2021年10月：インターン開始 2022年4月：アルバイトスタート 2022年5月：半導体部品の組立て、売上比率20% 週2～3回勤務（アルバイト）約7万円/月</p>



平等

公平

現実

解放

- ・ 平等は、それぞれの状況を鑑みずに全員に対して同じ待遇を行うこと。
- ・ 公平は、それぞれの状況に応じた待遇を行うことで、機会均等のためには公平性が求められる。

つまり、公平性が担保されてはじめて平等を得ることができる。

スリーハイからのメッセージ

目的によって
障害者雇用は異なる

- ・コンプライアンス
- ・企業戦略として
- ・働く仲間として

働くとは
チャレンジの連続

- ・得意・不得意を見つける
- ・日々のコミュニケーション
- ・前向きな気持ち

誰しもハンディはもっている、あなたも、わたしも。
昨日の自分、今日の自分を大切にしていこう。



グロースの翼
～350万社の奮闘記～
「デコボコを補完で丸に」
| BSテレ東



スリーハイのモノづくり



9歳へ贈る！準工業地域で
働く大人たちの思い
(こどもまち探検)

ありがとうございました

株式会社スリーハイ